

佐貫小学校PTA本部役員の方への説明会での質疑

期日：令和4年10月14日（金）及び令和4年12月9日（金）

出席者（10月14日）

市教育委員会：黒川学校教育課長・財前主幹・田口指導主事

PTA本部役員：10名

出席者（12月9日）

市教育委員会：平野教育部長・黒川学校教育課長・財前主幹・田口指導主事

PTA本部役員：7名

Q1：この会はどのような趣旨で開催されているのでしょうか。

A1：市教育委員会といたしましては、学校において、極めて少人数の学級が見られたことから、小学校では複式学級の解消、中学校では単学級の解消を目安に、学校の再配置を検討する必要があると考えました。子どもたちの心身の発達のためには、多くの人数の中で生活を送り、色々な経験値を積むことが大切です。時には喧嘩などのトラブルもあるかと思いますが、それを乗り越えることで成長することができます。そのためにも一定規模の教育環境整備が必要であると考えています。このことへのご理解を頂くため、まず、学校の代表であるPTA本部役員の方々に説明をさせて頂くため、本説明会を設定いたしました。

Q2：天羽小等、過去の再配置計画の進め方、過去事例が知りたいです。

A2：

- (1) 平成29年1月10日より約6ヶ月の間に各小学校のPTA・保護者・地区住民への説明会を1回から3回行いました。おおむね賛成を得られたと判断した後、平成29年6月30日に再配置計画を策定いたしました。その後、平成30年3月30日には金谷小学校を含めた、再配置計画の改訂をおこないました。
- (2) 上記説明会を終え、平成29年8月3日より令和2年1月8日迄の間に各部会毎の会議を開催しました。(①～⑦の部会をそれぞれおこないました。)
 - ①天羽小代表部会（6）
 - ②天羽小学校教職員部会（8）
 - ③天羽小PTA等部会（6）
 - ④天羽小養護教諭部会（2）
 - ⑤天羽小事務部会（2）
 - ⑥スクールバス保護者意見交換会等（3）
 - ⑦試乗会（2）
- (3) また、児童生徒への対応としましては、平成29年度から令和元年度に、湊・天神山・竹岡・金谷小学校の合同授業及び合同校外学習を行いました。

学 年	合同授業	合同校外学習	
6年生	5回	1(修学旅行※)	※湊・天神山・竹岡
5年生	2回	3回	
4年生	1回	2回	

3年生	1回	2回	《 H29・11~R2・2 》
2年生	2回	2回	
1年生	3回	0回	

Q3：前回から間が開いていますが、市は統合する方向で話が進んでいるのでしょうか。前回から話が進んでいるのでしょうか。

A3：本来であればもう少し早くお伺いして説明をすべきでしたが、コロナ禍の影響等もあり遅くなってしまいました。現在、感染状況も落ち着いてきておりますので、まず、PTA 本部役員の方に説明をさせていただき、再配置への我々の考えを理解していただけるよう、今後も説明に伺わせていただきたいと思います。

Q4：例えば、保護者からすんなり了承が得られたとして進めていくとしたら、そこからどのくらいかかるものなのでしょうか。

A4：保護者や地域の意見を丁寧に聞きながら進めていくので、おおむね2～3年ぐらいはかかるだろうと思われまます。

Q5：大貫小の保護者には説明はまだないのでしょうか。

A5：今後、佐貫小学校の保護者の皆様への説明会（回数は未定）を丁寧にさせていただき、おおむね賛成（強行的な反対意見が出ない）の意見がいただけたと判断したのちに、大貫小学校の保護者や地域住民の方への説明を行っていく予定です。

Q6：複式学級の基準はあるのでしょうか。

A6：「小学校の第1学年の児童数と当該学年に引き続く1の学年の児童数との合計数が8人以下である場合」及び「小学校の第1学年を含まない場合は、引き続く2の学年の児童数の合計数が16人以下である場合」となっています。

Q7：天羽小再配置の時のマイナス面はなかったのでしょうか。

マイナス面の方こそ伺って、それに対して対応していけるか知りたいです。

A7：

(1) 指導面に関すること

▲統合しても1クラスのため、教室が狭く感じ、ザワザワとした感じがありました。

▲学校ごとのルールの違い（遊具の使い方・休み時間の体育館の使用の可否・忘れ物の貸出方法・授業の挨拶・ノートの使い方など）があり、新しい生活スタイルを確立するのに時間がかかりました。

(2) 子どもに関すること

▲通学等に関する問題点がありました。

- ・下校時刻が固定化される。登下校に時間がかかる。
- ・忘れ物・バス酔いによる体調不良・マナー等
- ・放課後に友達と遊びたくても、親の送り迎えが必要となり、気軽に遊べない。
- ・校外学習時に、バス通学の児童への配慮（保護者の迎えの協力）が必要

(3) 保護者に関すること

▲子どもは新しい環境に順応しようとするが、保護者は「前の学校が」よかったと思われる言動が見られることがありました。

▲保護者や地域との関わりが薄くなる。他地区の保護者同士があまり関われない。

▲PTA活動のやり方や次年度の本部役員の決め方など、軌道に乗るまでが大変。

Q8：バスを利用して登校していくときに送り迎えが出来ないときはどうするのでしょうか。(学童も含む)

A8：具体的なバスの運行時間、本数、停車場所については、再配置を行うことが決定した後に、保護者の皆様と協議しながらすすめていきたいと考えています。状況（急な病気）にもよりますが、迎えが困難な状況では、タクシー等の利用も視野に入れて対応します。スクールバスは児童・生徒の登下校の安全・安心を確保するために、最優先するものです。学童の送迎については、保護者対応と考えています。

Q9：環境が変わることに対するケアやフォローはあるのでしょうか。

A9：統合などにより不安を抱える児童の心のケアについては、スクールカウンセラーによるカウンセリングを実施していきます。また、統合前から、交流学习等を計画的に実施していくことで不安の解消に努めるとともに、各学校で教職員の連携を密にする、教育相談を充実させるなど丁寧に児童へ対応していきます。

Q10：このような話が出ているということは、再配置ありきで進んでいるのでしょうか。

A10：教育委員会では、極めて少人数の学級につきましては、子どもたちの教育環境の整備を検討する必要があると考えております。ご理解を得るために説明をさせて頂いております。

Q11：再配置を決めるタイミングはいつ頃でしょうか。

A11：「児童・生徒の教育環境を整えるための再配置であること」を理解して頂くため、説明を重ねてまいります。おおむね賛成の意見がいただけたと判断したのちに、再配置を進めていきたいと考えています。

Q12：市内で一貫校にして、富津市として一つの小中学校で集中管理したらどうでしょうか。子どもたちの環境を富津市が面倒見るという覚悟を持ってもらいたい。

A12：教育委員会としましては、極めて少ない人数の中で、子どもたちが生活を送ることを懸念して、本計画【富津市小・中学校再配置計画】を策定しております。富津市として、市内で1つの小中学校で集中管理を行うという考えはございません。

Q13：授業数の中でやれるのであれば、交流会を1ヶ月くらいみっちりやってほしい。それが安心材料になります。

A13：統合する前からお互いの学校を行き来し、学習等の交流を計画的に行い、人間関係を深め、不安を解消していきたいと考えています。期間や回数などは、学年の発達状況に応じて、学校と相談しながら進めていきたいと考えています。

Q14：地域の活性化のための方向性を考える必要があるでしょうか。

A14：富津市未来構想を策定し、取組を進めているところです。

Q15：悪影響があるのではないかと心配です。佐貫小の保護者は顔を知っているが、大きくなるといろいろな親がいます。良くない環境に入るのは心配です。

A15：子どもたちは、いずれは社会へ出ていきます。自分とは違う考え方等を知り、共に生活する中で、より多様な対応力（物事の善し悪しや、判断力）を身につけさせていきたいと考えます。

Q16：大佐和中の時の了承はどうやってとったのでしょうか。

A16：説明会の中で、再配置への強行的な反対意見がでなかったことや、保護者の思いとして「この人数では部活動は存続できないだろう」等の意見が出てきたことから、再配置を行う方向で了承して頂きました。

Q17：再配置をしたとき、しなかったときのコスト面、経費、予算はどうなるのでしょうか。一つの視点としてだせるのか、メリットとして示すことが出来るのではないのでしょうか。

A17：市の負担分と致しましては、令和3年度につきましては、トイレの改修工事費があったため、佐貫小学校のハード面のコスト（光熱費・委託料・修繕費・賃貸料・その他）は、おおよそ3500万円でした。学校の規模にもよりますが、1校あたり年間約1300万前後必要となり、校舎、建て替え費用なども含め、年間約4100万円が必要となっています。

佐貫小学校保護者の方への説明会での質疑

期日：令和5年2月15日（水）

出席者

市教育委員会：平野教育部長・黒川学校教育課長・財前主幹・田口指導主事

保護者：15名

Q1：大貫小との統合が前提と決定なのでしょうか。

A1：現段階で施設の規模上、大貫小を考えています。

Q2：天羽小の保護者アンケートで、大きな反対や、統合しない方が良かった等の意見はなかったのでしょうか。どちらかという良かった意見が多かったのでしょうか。

やって良かったというアンケート結果があれば、保護者が（統合に気持ち）傾くのではないかと思います。

A2：統合に特化したアンケートではなく、学校評価アンケートの中の保護者の意見なので、全体の割合はわかりません。

Q3-1：子が大佐和中に統合したことは、部活の種類が多く活動の幅が広がってよかったです。スクールバスに学校生活が制限されているように感じました。先生方も苦労しているので、小学生なら尚更です。バス停までの送迎にも多少抵抗感があります。天羽小はどう対策を考えたのかどのように保護者に納得してもらったのか知りたいです。

A3-1：今後特化した部会でより希望に近づくように検討していく。

Q3-2：決定後ではなく、決定前にわからないと安心して送り出せない。

A3-2：金谷小勤務時、同じ不安が出ていました。詳細な資料が今手元にありませんので、どのようにすり合わせしながら進めていったか、後日お示ししたい。

A3-2 から、回答として配付した資料の内容

天羽小学校のスクールバスQ&A

1 乗降場所について

Q1：スクールバスの乗降場所は誰がどうやって決めるのでしょうか。

A1：今後策定を予定している「スクールバス設置運行計画」に定められたバス停の中から、児童生徒・保護者に希望票を提出してもらい、決定していきます。

Q2：家の近所にかかわらず乗降場所を指定してもよいのでしょうか。また、往き帰りで異なる乗降場所になっても大丈夫でしょうか。

A2：バス停の設置されている場所であれば、児童生徒の安全を考慮し、家庭の都合で希望してもらってかまいません。希望票にその旨理由を添えて提出して

ください。

Q 3 : 乗車の際には何分前までにバス停に到着していればよいでしょうか。

A 3 : バスは基本的に時間で運行しています。間に合う時間に到着するようにしてください。

2 乗降時間について

Q 4 : 特に中学生など、季節によって下校時間が変化しますが、その対応はしてもらえるのでしょうか。

A 4 : 学校と連絡をとりあい、下校時間に応じた運行を行っていきます。

Q 5 : 日にちによって下校時間が異なる場合があると思いますが、その連絡はどうやって来るのでしょうか。

A 5 : 学校だより等を通じて、事前に提示されます。急な変更の場合には、「連絡メール」等を通じてお知らせされることもあります。

Q 6 : スクールバスが急に遅れる場合の連絡は、どうなるのでしょうか。

A 6 : パンク等、不慮の事故による遅れの場合は、学校からの連絡メール等によって対応させていただきます。

Q 7 : 兄弟姉妹で下校時間が異なる場合に、安全を考え一緒のバスに乗せたいのですが、対応してくれるのでしょうか。

A 7 : 低学年の児童が兄姉の下校を待つ場合、事前に学校に申し入れることで、1時間程度小学校で預かることをお願いし、了承を得ています。

3 バス停について

Q 8 : バス停以外でも手を挙げればバスが停まるような手だては考えられないでしょうか。

A 8 : バス運行の安定、安心安全等の確保のため、決められたバス停での乗降をお願いします。

Q 9 : 中学生は、バス停まで自転車で行ってもよいでしょうか。また、自転車通学距離に規定はありますか。

A 9 : 駐輪が可能な場所があれば、バス停までの自転車通学は可能です。また通学距離による自転車使用の規定はありません。学校への申請とヘルメットの購入・着用をお願いします。

4 登下校以外のスクールバスの利用について

Q 10 : スクールバスは、部活動の対外試合や校外学習でも利用できますか。

A 10 : スクールバスは、原則的に学校との送迎以外に利用することはできません。校外学習などの学校行事については、乗車人数、行き先等の制限はありますが、申請により利用できる場合があります。

Q 11 : 老人会等の地区での利用はできますか。

A 11 : 児童生徒の送迎等、学校関連以外の使用はできません。

Q4：複式学級解消という目的1つのために、統合して小学校をなくすということにまだ疑問がります。子どもの教育環境として統合自体は賛成、統合はいいことだと思いますが、保護者の賛成だけで決定していいものか、果たして地域にとって学校がなくなるのはどうなのでしょう。地域の反対もあると思います。天羽では、住民説明もあったようですが、その辺を慎重に進めてほしいです。

A4：非常に重要なことです。学校施設がなくなることは、過去の実績からもいろいろなご意見をうかがえ、数々の説明会を行いました。地域の方々に対して丁寧に説明していく必要があります。教育委員会としては、子どもの施設・教育環境がよくならなければならないというのが一義的にある。副次的には、2020年3月に、まち・ひと・しごと総合戦略、人口ビジョンで、2040年に、今4万2千いる人口が、3万4千人程度になるという予想が出されています。子どもたちも人口も減るということではありますが、それを市の政策でなんとかしていこうとしています。また、昨年6月に「未来構想」を作りました。この中にもいろいろな取組をやっていることと対応しています。公共施設がたくさんあり、小学校についても老朽化しており、十分な施設の整備ができていないのが現実です。直していかなければいけないが、範囲が広いので、集約して適正な形で整備していくにはどうしたらよいか、公共施設全体でも考えています。学校がなくなってしまうということに対しては、非常に十分な対応をしていかなければなりません。佐貫中学校・天羽東中学校についても、民間活用をしようとして、いろいろなアイデアを出していただける方に借りていただき、地域の方にも活用してもらえようとしています。施設は壊さず、有効活用して地域の活性化につながるように市としては考えているので、ご理解いただきたい。このようなプロジェクトも、他の部局の取組にあるので参考までに紹介します。

補足をさせていただきます。教育委員会として、複式学級解消というより、きわめて少人数の学習（座学や社会力や人間関係）を総合的に考えた時に、ある程度の人数の中で生活をして学ぶ、自分と違う考え方や行動をとる仲間、自分はどう関わり対応するのかを含めて、より柔軟に逞しく生きていけるようになってほしいです。決して少人数がだめという訳ではありません。より出会う機会が増えるということを教育委員会としては大事に考えたいです。どこかである程度の規準を設ける必要があり、目安として「複式学級の解消」という経緯になりました。複式学級になってしまうことからスタートしているというより、本来であれば、ある程度の規模でたくさんの経験をさせられる、（今ができていない訳ではなくて、）より広がるというラインを、教育委員会としてはそこに決めました。広くとらえたところの考え方としては、先ほどお話しした内容になり、教育委員会としてはそういう基準で話をしています。

Q5： 集団生活の中で過ごす時間を多くという思いはわかりましたが、佐貫中の統合の時と同様に、子どものためというより大人の事情で話が進んでいる気がします。子どもが少なくなったから統合する。40, 50年前から減っていた時には何もせず、3万人になったから慌てて未来構想を作り、統合をたたみかけていることが気になって仕方がありません。そういうことを隠して「子どもたちのために」というきれいな言葉を使っているように思います。教育委員会の思いを聞かせてほしいです。

A5： 難しい話です。社会増が見込めない状況、少子高齢化は全国的な話です。過去にノープランでやっていた訳ではなかったと思います。それぞれの地方行政で、できる範囲でやってきました。今、未来構想で、これから先 10 年、子どもたちだけのことだけではなく、富津市をどうするのかを条例化して計画を作りました。過去は反省として、まずわかっていたいただきたいのは、過去の前例に縛られず、これから、よい街づくりをしていこうという信念を持って、今の市長・教育長も考えています。過去に何をやっていたかというところでは、校舎を積極的に建てたのは昭和 46、47 年がほとんどなので、現在老朽化していますが、今、エアコンを全教室に設置したり、ICT 教育やトイレを改修したり、過去にできなかった環境整備をやらせていただき、教育環境の改善の取組を行っていますので、過去についてのご意見もあると思いますが、これからを考えてベター・ベストが何かということやらせていただいているので、ご理解・ご協力いただければと思います。

Q6： 地域活性化等の話は富津市だけではなく、全国にみられる傾向。構想について、国から下りてくるものをただそのままやっていて、富津市独特で何か力を持てるものを、今の 10 年構想の中に感じなかったです。他市の例を取り入れてやっているだけで、地域独特の愛着を持てるものではないと思います。未来構想の書面を見た時に、本当に地域を大事にしていこうという思いがあまり伝わってこない印象しかなかったです。そんな中で今の話が進んで、この地に育った愛着のないまま大人になって、この地域を仮に離れて行って、知らない土地で生きていく中で、子どもたちが誇りを持って生きることができるのでしょうか。そういった子どもたちの心の根幹的な部分を考えてすすめているのでしょうか。考えすぎかもしれませんが。我々はここで育って、この年まで過ごして、今になって良かったと思えるが、地域がなくなってしまうということまで、子どもたちが成人した先のことまで考えて再配置を進めているのか心配です。

A6： R5 の学校教育の指針に「富津を愛し富津の未来を託せる児童生徒の育成」を掲げています。特に来年度、校長会議で教育長が示した一つとして、自分の学区について学ぶ機会は教育課程に組み込まれているが、自分の学区を離れて市内の中でどんな良さがあるのかを見つけられるような学びを、是非重点的に取り入れ

ていきたいと思いますという話がありました。佐貫の子たちが佐貫のことをよく知って、愛着を持って戻ってきたいと思ってもらうことは当然必要です。自分も一度は離れた土地に帰って暮らしていますが、そのように市に戻ってきて、それぞれがそれぞれの役割を果たせるように教育活動の中に取り入れていこうという動きは今まで以上に強く持っています。重点的に地域を越えた学びをしていこうと働きかけていこうとしています。

具体的に、未来構想をもう少し詳しく説明いたします。テーマ3「次代を担う子どもたちを育むまち」「郷土の歴史や文化・産業の理解を深めるため、名所・歴史的遺構への見学・体験的学習の機会を充実させます」この近くにも遺跡や神社仏閣がありますが、これらを再認識していこうとしています。また鋸南町と富津市で日本遺産に向けての取組をしています。

小学5年生を対象に鋸山の歴史を話し合っレクチャーし、富津市の歴史についての深まりを地域だけではなく、富津市としての遺産、日本の遺産になるような尊いものがあるという認識をしていこうと取り組んでいます。「市内の企業等と連携し、工場見学や職場体験などの小中学校のキャリア教育を充実させます。」工場見学や職場体験、人材活用と富津市の新富の埋め立て企業は、素晴らしい一流企業がありますので、富津で働こう・富津の子を採用してもらおうと、市全体で考えていこうと取り組んでいます。「公立図書施設と連携を図り、読書環境を整備するとともに、学校においても読解力・思考力・表現力を高めるために、読書活動を推進します。」4月1日に図書館がイオンモール富津にできます。全国の市で8カ所、図書館がありませんでした。富津市もそのうちの1つでしたがオープンします。学校現場でも毎月5のつく日を読書の日にして読書の推進をしています。子どもたちに本を読んでもらうために、良い環境になるように、規模は大きくはなく、隣市のように立派なものではないが、すごくきめ細やかに選書したものを考えて作っています。皆様にも見ていただき、富津市の読書の理解を深められるよう努力しています。このように、具体的にも行っているのです、どうかご理解をいただければと思います。

Q7:再配置の考えに賛成するが要望があります。環境が変わることでケアが必要なのでスクールカウンセラーを置くとありますが、一番慣れ親しんだ先生がそばにいたことが、子どもたちの一番の安心につながると思っています。佐貫小の職員が複数名異動することで、教員を規定数より多くして、手厚く、たくさんの方の目で見てほしいということを節に願います。

A7:天羽小の時も可能な範囲の中で人事配置をさせていただいています。加配教員についても、統合される場合には、これまでは確実にそういう方を複数年の中で配置させていただきました。県の方からも職員を配置していただくことができ

いましたので、同じように要望していくことになります。併せて、子どもたちに、それぞれの困り感が出てくると思いますので、きめ細やかに対応できるような体制作りは、学校教育課としても、可能な範囲で努力していきます。

Q8：2点不安があります。

①睡眠時間を確保したいので、スクールバスに極端に早い時間に寄せたくありません。

②防犯面の心配。子どもをバス停に1人で待たせて乗せなくてはいけないので考えてほしいです。位置情報の把握等で携帯を持たせていますが、統合後も引き継いでほしいです。

また、複式だったから良かった点は（全校が仲がよい・先生方のケアがしっかりしている）統合で上手く引き継いでほしいです。子どもたちの意見を取り入れてあげた方がよいと思います。これからどうしていけばいいかなど、考えさせて安心させてほしいです。学校が一つになることについて、今話すのは混乱を招くので難しいかもしれませんが、子どもたちの思う佐貫小の良いところはどんなところなのかを吸い上げ「大人の方でよいところは残してあげるから、新しい学校（のやり方）の中に入れていこう」という感じで話を進めていけば、私たちも子どもたちも前に進めますし、そのあたりが上手く進めば私たちも助かります。

Q9：「子どもたちのために」を前提にしていますが、保護者からすると、「予算的なものが、この人数に対してこの数の教員と施設が困難になってきているのが本音」と聞こえます。統合のメリットより、少人数のメリットの方がよく見えると感じます。上級生と下級生のコミュニティーがとてもよくとれています。これが大きな学校だったら、多分ここまではないと思います。人数的には少人数過ぎるのだと思うが、人数の少ないメリットは確実にあると思います。中学校が統合するのは部活のメリットがありますが、小学校のうちに大人数が絶対的に必要な条件なのかと疑問に感じます。本音は施設の老朽化だったり、職員の不足だったり、統合はしょうがないが、あくまでも一緒になった方が子どもの環境がよいというところに疑問が少しあります。佐貫のよいところを吸い上げて活かしてほしいです。佐貫小の教員を配置してもらうことや大貫小への説明が、話が進んでから説明しますという内容だったが、人数が少ない学校が大きな学校へ入ると、転校生扱いになってしまうと思います。小さい佐貫小が大きな大貫小に行く。そこを大貫小の子にも理解してもらいたい。本来、統合はお互いのよいところは取り入れてというものである、あって欲しいと希望します。そのためには佐貫だけで決めていいものかと思っています。順番はあると思いますが、大貫小とのやりとりを丁寧に進めてもらいたいです。

A9：環小の説明会でも同様に、大きい学校に小さい学校が行く心配とそれぞれの地

域には良いところがあるので、そういうものを踏襲して、「吸収合併ではなく対等合併で」お願いしたいと意見がありました。もちろんそういうことも含めてこれから進めていこうと考えています。金銭面、確かに市内11校の設備や改修が整っておらず、潤沢にできていないので否めません。満足のいく環境に整備ができていないのが事実です。統合して施設が一つになれば、排水など修繕も(同金額なら)お金がかけられるメリットはあります。今できないことが一つになればできるという可能性があります。それを含めて一番よい環境を作るためには集約した所がよいということは否定しませんが、こういう現実はあるが、教育委員会としては金銭での統合判断はしていません。

佐貫小のよいところ、大貫小と一緒にになった場合のことについて、資料 Q2 にあるような会議を充実させる中で、お互いの良いところを吸い上げていきたいと思えます。

Q10: 順調に賛成が得られたら、統合が早まることはありますか。

A10: 丁寧に説明をして進めるため、2年～3年、早くても2年は必要だと思います。

佐貫小学校保護者の方への説明会での質疑

期日：令和5年6月9日（金）

出席者

**市教育委員会：岡根教育長・平野教育部長・細谷学校教育課長・大畑主幹
苅込指導主事・田口指導主事**

保護者：9名

岡根教育長から挨拶

富津市の学校再配置に係る計画は、平成30年3月に計画を公開しました。

極めて少人数の学校が見られ、児童生徒の社会性、友人関係対応力を育てていくことが、社会の変化に対応する力、いわゆる「生きる力」のベースとしてとても大切であり、その教育環境を整備していくことが必要と考え、保護者の皆様のご理解を得て取り組んできました。

令和2年から、天羽小学校、天羽中学校、大佐和中学校については、再配置を進めてきましたが、本校についても極めて少人数の学校となってきましたが、コロナの関係で、対面でのお話ができない状況が続きました。コロナ感染も少しずつ落ち着いてきましたので、昨年の暮れからお話をさせていただいております。

学校再配置を進め、よりよい教育環境を整備することについて、ご理解を得るために、様々なご質問を頂き、対応させていただきます。

保護者の皆様のご理解を得て進めてまいりますので、よろしくお願いたします。

Q1：今回、保護者会に参加された保護者は、話ができたり意見が出せたりするのでよいと思います。家庭の事情や、仕事の都合上で、この場に来られない保護者に対しての意見集約は、どのように考えているのでしょうか。

A1：保護者がどのような意見をお持ちかということをお聞きしたいので、この資料をまず全員の保護者に配付して、「今までの話し合いの経過はこういう話とこういう質問が出てます。」という中で、さらにご質問ある方は、学校の方に出してくださいという形で意見集約する期間をとりたいと思います。

Q2-1：バスの運転手は1人ですか。運転手が複数の場合は、基本的には毎回同じ方が運転しますか。それとも、その都度、運転手が替わったりしますか。

A2-1：バスは基本的にバス運行会社に委託しており、基本的な運転者は何名かを固定していますが、毎回同じ方ではなくて、何人かがチームを組んでその中で回しているという形になります。

Q2-2：男性で年齢的には、50から60代ぐらいですか。

A2-2：はい。

Q2-3：富津市だけから委託をされていますか。

A2-3：業務委託を受けている会社が、富津市だけではなく、複数の企業の受注をしている会社になります。

Q3：再配置後の学校名が「大佐和小学校」に決まったとしたら、体操服は指定のものができて、それを購入するという形になりますか。佐貫小は、白いTシャツと黒やネイビーのパンツなど、自由ですが、統合した際には指定の体操服ができたりしますか。

A3：大貫小も佐貫小と同じく指定のものではなく、Tシャツは白っぽいものと紺のハーフパンツですが、青だったり、いろいろな色のお子さんもいます。転校してきて、転校前の学校で着用してたものを着ていたりする場合がありますので、特に指定のものはありません。そのようなご心配がいろいろあると思いますので、やはり今、「大佐和小」とおっしゃったんですけれど、校名や校歌など、様々なものが課題でもあります。

Q4-1：大貫小へ佐貫小が再配置として、一緒になるという話を聞いています。事情はいろいろあるかと思いますが、大貫小の校舎や校庭等の施設を比べて佐貫小はかなり見劣りするということでしょうか。佐貫の子供たちが大貫に行くことを前提として進めているのでしょうか。大貫の子供たちが佐貫に来るってというような考え方は無いのでしょうか。

A4-1：基本的にバスで移動するにしても、大貫の人たちが「佐貫小の方が校舎がいから佐貫小に行きますよ。」という意見があれば、また検討します。

Q4-2：まだ白紙の状態なのでしょうか。

A4-2：基本的には、移動する人数が少ない方が再配置はしやすいと考えています。ですから、今回の場合は、佐貫小の子供たちを大貫小の方に通わせていこうということについてのご理解を得たいと思います。どのような形での学区の編成にするかについて論議をするとともに、校舎の建設や維持を含めて考えていく必要があると思います。基本的には少人数の子供たちを移動させていく方が、理にかなっているのかなということまで話を進めています。多くの人たちが移動するとなると、かなりのリスクと、大変なお金がかかるので、そういった点では、佐貫小については今の段階では大貫小に通う方がベターかなという考え方です。

Q4-3：大貫小のグラウンドは水はけが悪いと思います。整備を全部含めてトータルで考えて、大貫小の校舎へ移動することを今考えているのでしょうか。

A4-3：グラウンドの水はけについては整備していかななくてはいけない内容だと思います。学校の環境整備や施設整備を行う必要があることは重々承知していますが、そこまで整備できていないのは事実です。

Q5：地域から学校がなくなるということは、教育委員会だけ、オフィシャルだけで決めていいことなのでしょうか。地域のアンケートをとりました。その回答は届いていますか。

A5：まだ、アンケート結果はいただいていません。

私は地域に住んでいるので、アンケートを見ました。子供の数や、様々なその環境の内容は触れられておらず、佐貫小学校があった方がいいか悪いかといえば、あった方がいいと私も思います。

再配置について理解してもらうために、まずは該当する保護者の皆様がどういふふうな考え方をしているのかということを含めて理解を得てから、地域の方々にも説明をしていく必要があると、アンケートを見て感じました。

施設がなくなるということに関して、もちろん公共施設なので、全てあった方がよいと思います。学校はあった方がよいが、やはり子供の環境からいうと、あまりに児童数が少ないと思います。

子供たちの中での学習環境というのは、少人数指導というのは非常に学習効果は高いと思いますが、それ以上の対人関係や、様々な意見を持つてくる子供たちの関わりという点からいうと、極めて少ない人数よりはある程度の規模の中で子供たちが過ごしていくということの方が、教育的には価値が高いと思っております、皆さん方にご理解を得て、再配置について進めていこうと考えています。施設そのものは無くなるよりあった方がよいという考え方は十分わかりますが、それだけで子供たちの教育環境を考えてよいのかというのは、私達、教育委員会とすれば、第1には子供の環境をしっかりと考えていく必要があるということで、ご理解を得たいと思っております。

また、地域の方々にも、もちろん説明会を開きますので、保護者の皆さん方のご意見が、おおむねそのことに関してご理解を得ている状況であれば、地域の皆さん方に話をしていくということで、よろしく申し上げます。

自分と違う意見の子がいて、言い争いなどもあるかもしれませんが、天羽小学校を見ていても、子供たちが溶け込むのは非常に早く、あっという間に友達関係が広がり、馴染んでいて、どの子がどこから来ているかっていうのは、全く感じないような状況が今の天羽小学校はあるので、やはり友達関係の中でのいろいろな意見を持つ、自分とは違った考えを持つ子供たちと接することは、極めて大きいと思います。

このため、ぜひともご理解いただければと思っております。

Q6：保護者への説明の後に、地区の方々への説明という、順番でよいのでしょうか。現役の我々は結局は卒業していく子供たちの親で、そういう親たちの意見を聞くのであれば、今学校に上がる前であったり、これから成人して結婚したりしていくような、これからを背負ってくれる子供たちにまず情報を出すほうがよいのではないのでしょうか。その意見を集約して行って、段々我々現役なり、地域の方々とか、そういう人たちに広げてくってという順番の方よいのではないのでしょうか。

A6：逆だと思っていて、つまり、一番享受するのは子供だと思います。やはりその子供たちの成長一番願うのは保護者なので、まず保護者の方々がいる子供たち

が、例えば自分の子供が他の学校と再配置した場合どうかということを考えてご理解を願うということが、まず第1だと思っています。

もちろん、これから先結婚して、佐貫小に子供を通わせたいと思って、この地区で子供を育てたいと思う人もいるでしょう。「極めて少ない人数の学校よりはある程度規模の学校に通わせていくことが大事だと思う。」という考え方について、「違います。」という考え方はあるかもしれませんが、基本的には今いる人たちがどのように子供たちの成長のことを考えているのかというところをまずスタートラインとすべきだと思います。もちろん地区の方にも説明は行ってまいりますが、基本的には保護者のご意見が一つのベースになると考えています。

Q7：子供たちの成長が比重が大きい考え方ですね。地域が全体で子供たちを育てるという広い範囲の考え方は含まれていませんね。

A7：確かにバスで今中学生が通っています。そうすると、やはり会う機会は確かに少ないですね。私も朝歩いていると、中学生がバス停に向かっていてたまに会います。

それが佐貫中学校に通っていたら、子供たちの数は少ないですけど、会う機会が多いかもしれません。でもそれは地域の方々が出会った子供たちにどれだけの声かけをしたり、そういう気持ちを持って接したりすることがベースであって、学校がたまたまバスに乗っていかなきゃいけないから、地域で育てられないということではないと思います。

皆さんにお願いしたいのですが、子供たちにはぜひ声をかけてあげてください。

「もう終わったの?」「おはよう」「行ってらっしゃい」「元気?」など、声をかけてください。地域の方々が見守っているというスタンスは、仮に統廃合してバスに乗っていく子供であったとしても、子供たちには声をかけていただきたいです。

Q8：「どちらにしても子供たちのためになるのであれば」と保護者として思います。保護者たちの気持ちも、子供たちがいい環境でと、多分皆さん思っていると思います。個人的に引っかかるっていうのは、今子供がすごくこの学校が大事で、この学校が好きなんです。先生も友達も。もちろん、よそに行ったらよそにとっても気の合う友達がいるかもしれません、とっても楽しいかもしれません。でも、見えてないので「ここがいい」が強くて、だから「ジャンボ滑り台も大好きだし」

とか。だからすごく親はその子供の気持ちを理解したい。そうは言っても、その子供には決定権がない。実際、今、統廃合しようという意見が子供たちに適切だという話は、教育経験者の皆様方が集約された意見ということでしょうか。学校の先生の立場として、ご意見というか、いいところを何か伝えていただきたいと思います。

A8：全校20名という学校に以前勤めていて、その子たちも、その学校は大好きでした。学年3人などの子供たちが、例えば十数人だったら、どういう切磋琢磨ができたんだろうということも感じます。子供たちに、多くの人数の中で切磋琢磨する機会を与えていきたいと思います。

佐貫小の先生方も一生懸命やっています。複式解消は一つの目安です。二つ複式ができてしまうと教頭先生や、教務の先生が授業を見ていくという状況になっています。それであっても一生懸命やっていますので、本当に子供たちも楽しくのびのびとやっているのかなというのは推測がつかます。家に帰っても多分、今日はこうだったと話がされると思いますが、もう少し私どもが考えてるのは、子供たち同士の意見交換やいろいろな場面がもう少しあった方が社会性や様々な面で力がつくだろうということで、ご理解を得て、再配置をする必要があるかなと考えます。ある程度規模があれば、再配置は必要のないことだと思っています。

ただ、少な過ぎてしまうということに関しての危機感からの話をさせてもらっています。

よくニュースでたった1人の入学生などの話題があり、校長先生と2人でやっている姿を見ますが、交通機関がこれだけ発達しているのであれば、ある程度のところ、通わせる必要があって、集団を作るのが大事だと思います。

Q9：千葉県の中でも、このぐらいの規模の小学校は稀でしょうか。

A9：この4市の中で一番小さいところが、清和小学校で、30数名です。2番目が佐貫小学校で、3番目が環小学校です。（5月1日現在では、正しくは佐貫小、清和小、環小の順で児童数が少ないです。）

あまり子供の人数が少ない状況だけは打破していく必要があるという考えのもとにこの再配置計画を進めてきました。

今日、来られない方々がたくさんいる状況があるので、この資料をお配りして、私どもの考えを理解していただくように努めますが、意見や質問があれば出して

もらうような形をもう少し取り、それに対する回答も含めて進めていきたいと思っていますので、ぜひ何かあれば、今日言えなくても今度そういう機会があれば書いて出そうということがあれば、出していただいて、またご質問があれば答えていくように努めますので、ご理解をしていただきたい。何回でも説明に来たいと考えています。

Q10：おそらく1人1人の考えがあると思います。1人1人に意見があれば、書いてもらいたいと思います。

Q11：質問したいけどできない人もいると思います。意見の集約や回答など、焦らずゆっくりやっていってもらえればと思います。

バスもやっぱり意見が出ていましたが、バスの事故について親は心配します。運転手のアルコールチェックなど、安全に配慮したスクールバスにしてほしいです。